JSP

木造住宅用充填断熱材

高性能と抜群の施工性!!

ミラネクスト®

高い断熱性と優れた施工性のミラネクストが
従来の床に加え、屋根・壁へ対応部位を拡大!

特殊形状で施工がラクラクの『ミラネクスト

発売以来、高い評価をいただいているミラフォームを木造住宅用断熱材として開発。これまでビーズ法ポリスチレンフォームでしか実現できなかった形状をJSP独自の技術により製品化しました。吸水もほとんどなく安定した断熱性能を維持でき、スリットの効果により作業性も大幅に向上。垂木間・根太間にピッタリおさまり隙間も少なくミラフォームの性能を有効に引き出せます。

高機能で、しかもこんなに作業性がアップ!!

屋根

壁

床

さらに高断熱性能!!

『ミラフォームラムダ（熱伝導率0.022W/m・K）』を採用した《ミラネクストラムダ1》も登場!!

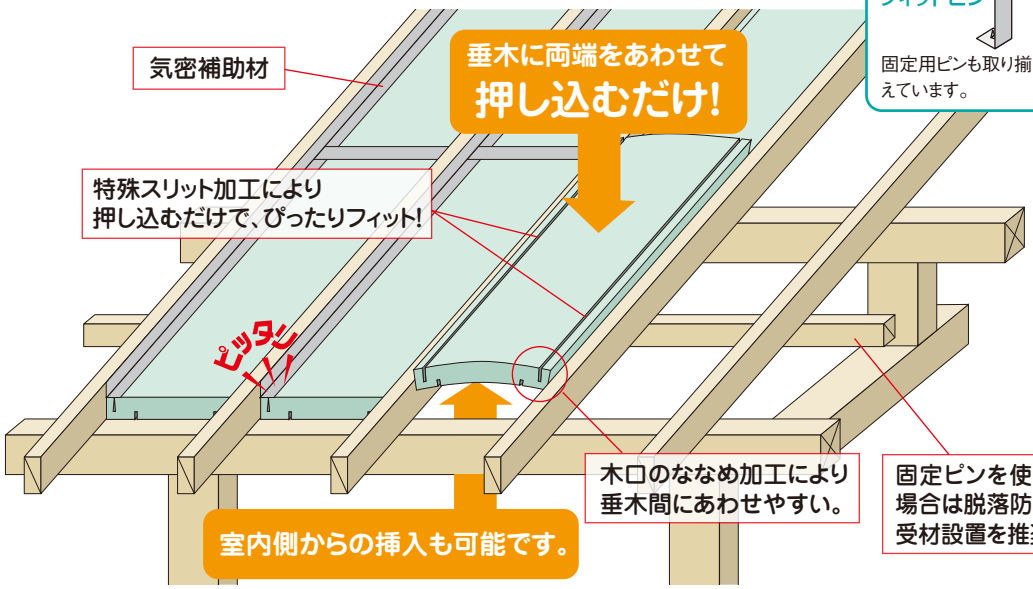
独自の形状により垂木・根太にピッタリフィット!! テーパー加工により作業性もUP!

ミラフォームの独立気泡は吸水性がほとんどなく、長期にわたり高い断熱性能を発揮し続けます。

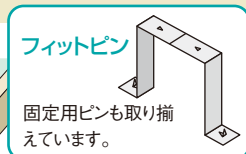
際根太に合わせて簡単にカットできるようにスリットを入れました。

JSPの独自の発泡技術により割れ欠けが少なく、施工時の破損を低減できます。

』――新次世代型断熱材『ミラフォームラムダ』

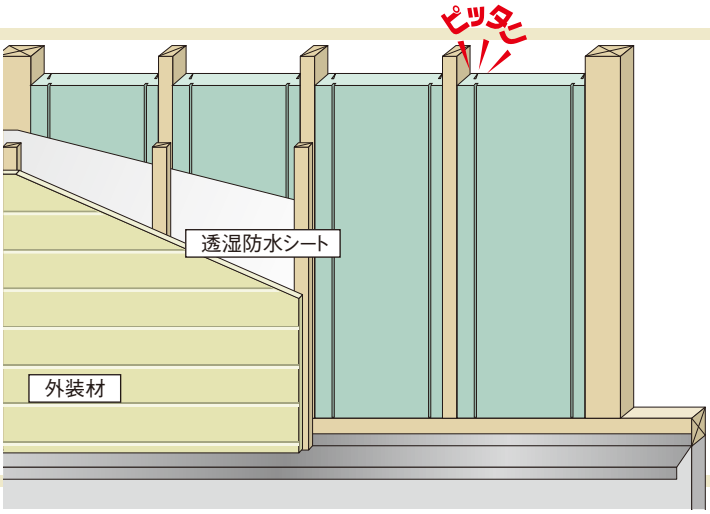


フィットピン



固定用ピンも取り揃えています。

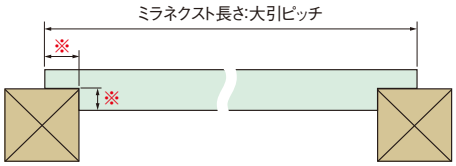
**スリット効果でピッタリ!
しかも軽量だから
作業もラクラク!!**



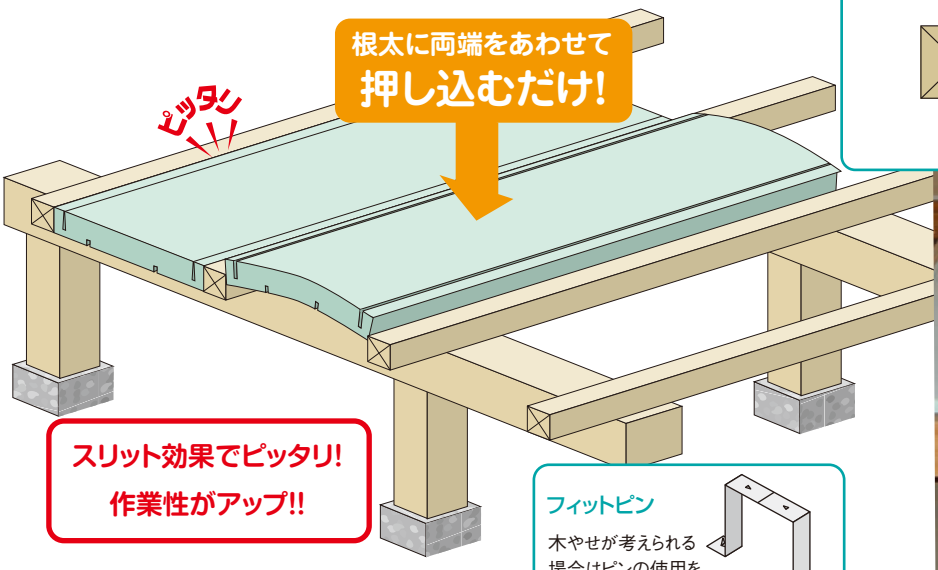
※室内側の防湿フィルムは、省略することができますが目地部分や木部との取合は、気密補助材での処理が必要です。

**根太間に納まらない厚さの場合
欠き込み加工での対応も可能です。**

大引にあたる部分の断熱材を欠き込むことにより、施工可能です。
欠き込み幅、サイズ等はご相談ください。(受注生産)

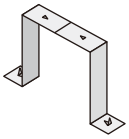


※欠き込み幅・深さはご相談ください。



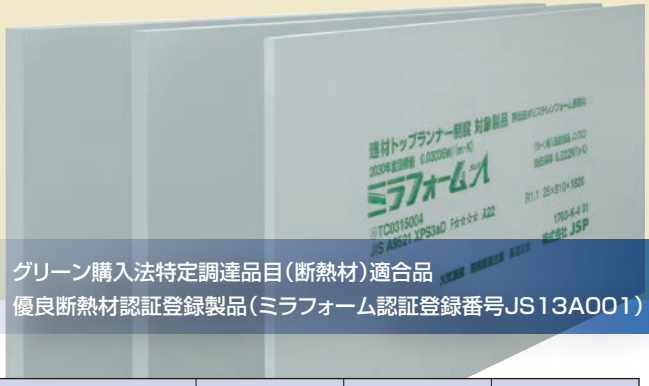
**スリット効果でピッタリ!
作業性がアップ!!**

フィットピン



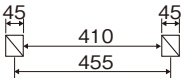
木やせが考えられる場合はピンの使用を推奨します。

をご提案いたします。



グリーン購入法特定調達品目（断熱材）適合品
優良断熱材認証登録製品（ミラフォーム認証登録番号JS13A001）

■ 屋根用［規格品］

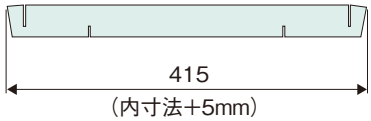
垂木間隔／垂木幅 (mm)	垂木内寸法 (mm)	品番	基材	厚さ (mm)	幅 (mm)	× 長さ (mm)	熱抵抗値 (m²·K/W)	入数／ケース (坪数)
455／45		W型	M1F	25	415 ［内寸法410+5mm］	×1820	0.7	8枚／ケース （2坪分）
				30			0.8	
				40			1.1	
				50			1.3	
			MKS	55			1.9	
			ラムダ	55			2.4	4枚／ケース （1坪分）

〔参考〕省エネH11基準 対応厚さ【部位:屋根/充填断熱工法】

品名	地域	Ⅰ地域	Ⅱ地域	Ⅲ地域	Ⅳ地域	Ⅴ地域	Ⅵ地域
	基準必要熱抵抗値	6.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
MKS/M2RS	基準厚さ	185	130	130	130	130	130
ラムダ	基準厚さ	150	105	105	105	105	105

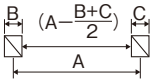
※上記対応厚さは、製品規格厚さと対応しない場合があります。

■ 製品形状　W型



（内寸法+5mm）

■ 壁用［特注品］

柱間隔／柱幅 (mm)	柱内寸法 (mm)	品番	基材	厚さ (mm)	幅 (mm)	× 長さ (mm)	熱抵抗値 (m²·K/W)	入数／ケース (坪数)
A／B, C		—	指定※1	指定値	(A−B+C/2)+5mm ［内寸法+5mm］	×1820	別途 計算 による	—

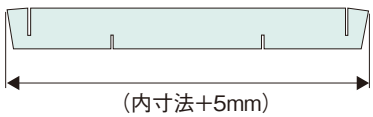
※1　基材/M1F、M2F、MKSまたはラムダを指定してください。

〔参考〕省エネH11基準　対応厚さ【部位:壁/充填断熱工法】

品名	地域	Ⅰ地域	Ⅱ地域	Ⅲ地域	Ⅳ地域	Ⅴ地域	Ⅵ地域
	基準必要熱抵抗値	3.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
MKS/M2RS	基準厚さ	95	65	65	65	65	65
ラムダ	基準厚さ	75	50	50	50	50	50

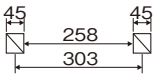
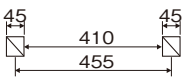
※上記対応厚さは、製品規格厚さと対応しない場合があります。

■ 製品形状



（内寸法+5mm）

■ 床用［規格品］

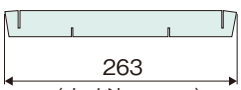
根太間隔／根太幅 (mm)	根太内寸法 (mm)	品番	基材	厚さ (mm)	幅 (mm)	× 長さ (mm)	熱抵抗値 (m²·K/W)	入数／ケース (坪数)
303／45		Y型	M1F	25	263 ［内寸法258+5mm］	×1820	0.7	12枚／ケース （2坪分）
				30			0.8	
				40			1.1	
				50			1.3	
			MKS	55			1.9	
			ラムダ	50			2.2	6枚／ケース （1坪分）
455／45		W型	M1F	25	415 ［内寸法410+5mm］	×1820	0.7	8枚／ケース （2坪分）
				30			0.8	
				40			1.1	
				50			1.3	
			MKS	55			1.9	
			ラムダ	50			2.2	4枚／ケース （1坪分）

〔参考〕省エネH11基準　対応厚さ【部位:その他の床/充填断熱工法】

品種	地域	Ⅰ地域	Ⅱ地域	Ⅲ地域	Ⅳ地域	Ⅴ地域
	基準必要熱抵抗値	3.3	3.3	2.2	2.2	2.2
MKS/M2RS	基準厚さ	95	95	65	65	65
ラムダ	基準厚さ	75	75	50	50	50

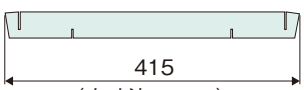
※上記対応厚さは、製品規格厚さと対応しない場合があります。

■ 製品形状　Y型



（内寸法+5mm）

W型



（内寸法+5mm）

H28年基準の対応厚さは最終頁の「平成28年基準 仕様基準」を参照ください。

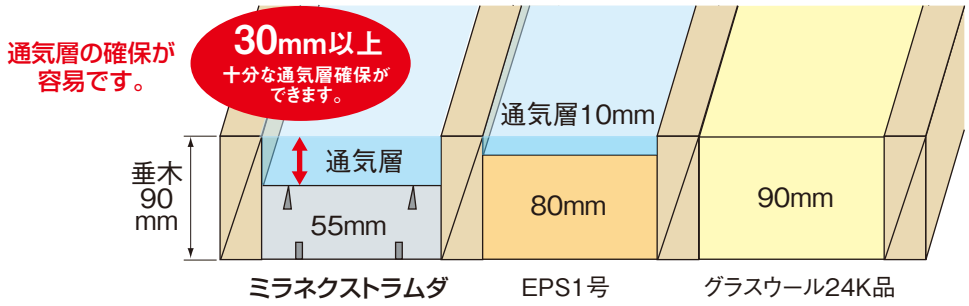
上記以外の寸法については別途お問い合わせください。

屋根・壁・床の充填断熱に最適。

屋根垂木間充填に最適です

屋根の充填断熱の場合、通気層30mm以上の確保が望ましいとされています。

垂木高さ、断熱材必要厚さの関係より断熱材は薄い方がメリットとなります。



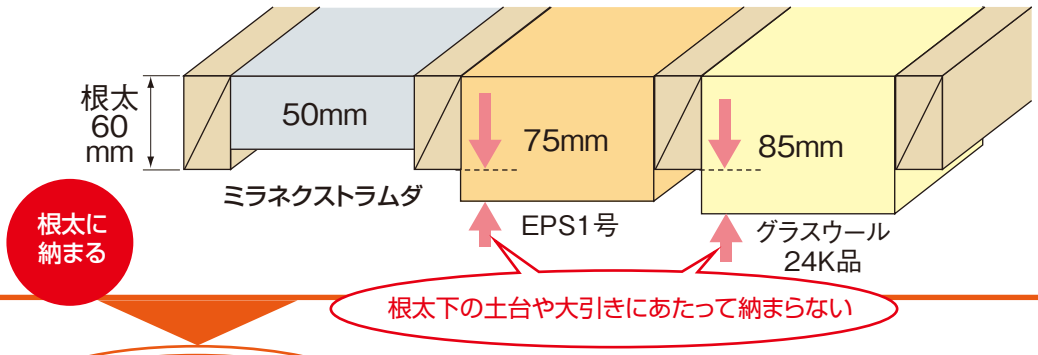
ミラネクスト ラムダタイプが最適 ⇨垂木高さの変更を軽減 ⇨最適な通気層が確保

床根太工法の納まり問題を解消

根太間充填断熱では根太高さによって断熱材厚さに制約が生じます。

根太高さ60mmの場合

ミラネクストラムダを使用することにより根太間に納まります。



ミラネクスト ラムダタイプが最適 ⇨根太材変更の必要なし

■ ミラネクスト規格対応厚さ　木造軸組工法

単位mm

部位			旧省エネ(S55) 断熱地域区分 Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	新省エネ(H4) 断熱地域区分 Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	次世代省エネ(H11) 断熱地域区分 Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
屋根		—	50	50	40	25	25	55	50	50	50	50	※2	55※1	55※1	55※1	55※1
壁		真壁造	40	40	30			40	40	40	25		50	50	50	50	50
		大壁造	40	40	25												
床	外気に接する床	—	40	40	25			55	55	40	30		※2	※2	※2	※2	
	その他の床	—	30	30	25			40	40	25	25		※2	50	50	50	

:1種　:3種　:ラムダ

※1　トレードオフ適用時の厚さです。(H11年基準)
※2　特注品対応可能ですので別途お問い合わせください。

■ 平成28年基準　仕様基準

【木造の住宅（充填断熱工法）】

部位 ＼ 断熱材の厚さ		1・2地域 必要な熱抵抗値 m²K/W	1・2地域 厚さ(mm) ミラフォーム MKS	1・2地域 厚さ(mm) ミラフォーム ラムダ	3地域 必要な熱抵抗値 m²K/W	3地域 厚さ(mm) ミラフォーム MKS	3地域 厚さ(mm) ミラフォーム ラムダ	4・5・6・7地域 必要な熱抵抗値 m²K/W	4・5・6・7地域 厚さ(mm) ミラフォーム MKS	4・5・6・7地域 厚さ(mm) ミラフォーム ラムダ	8地域※ 必要な熱抵抗値 m²K/W	8地域※ 厚さ(mm) ミラフォーム MKS	8地域※ 厚さ(mm) ミラフォーム ラムダ
屋根		6.6	185	150	4.6	130	105	4.6	130	105	0.96	30	25
壁		3.3	95	75	2.2	65	50	2.2	65	50	—	—	—
床	外気に接する部分	5.2	150	115	5.2	150	115	3.3	95	75	—	—	—
	その他の部分	3.3	95	75	3.3	95	75	2.2	65	50	—	—	—

注）上記対応厚さは、ミラフォーム、ミラフォームラムダの製品規格厚さと対応しない場合があります。

※2020年4月1日から8地域の熱抵抗値が改正されました。

【枠組壁工法の住宅（充填断熱工法）】

部位 ＼ 断熱材の厚さ		1・2地域 必要な熱抵抗値 m²K/W	1・2地域 厚さ(mm) ミラフォーム MKS	1・2地域 厚さ(mm) ミラフォーム ラムダ	3地域 必要な熱抵抗値 m²K/W	3地域 厚さ(mm) ミラフォーム MKS	3地域 厚さ(mm) ミラフォーム ラムダ	4・5・6・7地域 必要な熱抵抗値 m²K/W	4・5・6・7地域 厚さ(mm) ミラフォーム MKS	4・5・6・7地域 厚さ(mm) ミラフォーム ラムダ	8地域※ 必要な熱抵抗値 m²K/W	8地域※ 厚さ(mm) ミラフォーム MKS	8地域※ 厚さ(mm) ミラフォーム ラムダ
屋根		6.6	185	150	4.6	130	105	4.6	130	105	096	30	25
壁		3.6	105	80	2.3	65	55	2.3	65	55	—	—	—
床	外気に接する部分	4.2	120	95	4.2	120	95	3.1	90	70	—	—	—
	その他の部分	3.1	90	70	3.1	90	70	2.0	60	45	—	—	—

注）上記対応厚さは、ミラフォーム、ミラフォームラムダの製品規格厚さと対応しない場合があります。

※2020年4月1日から8地域の熱抵抗値が改正されました。

●設計・施工指針〔附則〕を使用する際には、開口部面積等の適用条件がありますので、ご確認ください。

■ミラフォーム一般性能

項目	条件	単位	M1F XPS1bC スキン層なし	MKS XPS3bA スキン層なし	M2RS XPS3bAI スキン層あり	ラムダ XPS3aD スキン層なし	測定法
熱伝導率	平均温度23℃	W/m·K	0.036以下	0.028以下	0.028以下	0.022以下	JIS A 9521
密度		kg/m³	20以上	25以上	25以上	25以上	
曲げ強さ	測定温度23℃	N/cm²	20以上	25以上	25以上	20以上	
圧縮強さ	測定温度23℃（圧縮歪5%）		16以上	20以上	20以上	10以上	
燃焼性	3秒以内に炎が消えて残じんがなく燃焼限界線を越えて燃焼しない	—	合格				
透湿係数	25mm厚50%RH	ng/m²·s·Pa	145以下	145以下	55以下	145以下	
吸水量	測定温度23℃	g/100cm²	0.01以下				JIS A 9521（アルコール法）

《取り扱い注意事項》

●火気厳禁（溶接厳重注意）

火気に接触すると燃えます。ミラフォームは燃えると黒煙を発生します。従って、輸送、保管、施工等に際しては火気に十分に注意すると共に、適切に養生してください。特に溶接・溶断等の火気を使用する場合、火花が当たらないように不燃シートなどで必ず養生してください。ミラフォームの酸素指数は26以上です。

●火気注意（保管・換気について）

ミラフォームに使用している発泡剤は可燃性ガスを使用しており、製品に微量残留しています。この可燃性ガスは、保管・施工中に大気中へ徐々に逸散し、空気よりも重いことから、ピットなどの掘り下げた閉鎖的な空間に滞留しやすい性質があります。可燃性ガスが滞留し爆発限界を超える状況下で火気に触れると火災や爆発が発生する可能性があります。そのため輸送・保管・施工時には火気と換気に十分注意してください。特に閉鎖空間での保管や施工に際しては、可燃性ガス（発泡剤）が滞留しないよう場所の選定や換気の意図的導入など設計・施工管理における注意が必要です。

●紫外線注意

直射日光に長時間曝すと徐々に表面から変色劣化し、接着不良、厚さの減少等の原因になりますので、保管に当たっては養生シートで覆い、施工後は速やかに仕上げを行ってください。

●有機溶剤注意

アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されますので、接着剤、塗料等の選択及び木造住宅での防腐・防蟻薬剤の選定及び使用方法については事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。

●高温注意

使用温度は70℃以下です。直射日光等による急激な温度上昇や多湿状態では70℃以下でも変形が起こる場合があります。
養生シートで覆う等、高温多湿状態にならないようご注意ください。

●割れ・踏み抜き注意

局部圧縮や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地のない箇所には乗らないでください。

●強風注意

軽量で取扱が容易な反面、風にあおられやすいので強風下での作業は注意してください。また、保管に当たっては飛散防止処置をしてください。

●その他の注意

(1)フォームの屑が目に入った場合は、こすらず流水で洗浄してください。
(2)熱線スライス等、煙の発生する作業を行なう場合は、換気を十分行なってください。
(3)燃やすと黒煙（スス）がでますのでご注意ください。（廃棄の際は条例に従って処理してください。）
(4)鳥、鼠、昆虫等によって損傷を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。

以上の注意事項に関しては、一般的な取り扱いを対象としたものです。それ以外の使用に関してはお問い合わせください。

株式会社 JSP　建築土木資材事業部　ホームページ　www.co-jsp.co.jp

東日本建材営業部
札幌営業所　〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-1（サンメモリアビル）TEL 011-231-2681（代）FAX 011-231-7850
仙台営業所　〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1（青葉通パークビルディング）TEL 022-262-3271（代）FAX 022-266-9583
東日本住宅グループ　〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2（新日石ビル）TEL 03-6212-6363　FAX 03-6212-6369
西日本建材営業部
名古屋営業所　〒460-0003 名古屋市中区錦3-4-6（桜通大津第一生命ビル）TEL 052-962-3225（代）FAX 052-962-3252
大阪営業所　〒541-0053 大阪市中央区本町1-6-16（いちご堺筋本町ビル）TEL 06-6264-7903　FAX 06-6264-7913
福岡営業所　〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-17（Totsu Biz Hakata Frontビル）TEL 092-411-6863　FAX 092-474-2706
工場　北海道工場、鹿沼工場、関西工場、九州工場

VEGETABLE OIL INK　このカタログは再生紙を使用しています。

2026.11.0000